



結核は、結核菌という細菌によって、主に肺に炎症が起きる病気です

結核は、現在でも、全国で年間約 10,000 人の方が発症し、約 1,500 人が命を落としている日本の主要な感染症です。

<R7 年の結核患者の状況>

	新規登録患者数	罹患率 (人口10万対)
八戸市	12 人	5.6
青森県	81 人	7.1
全国	9,899 人	8.0

<さまざまな課題>

- ・高齢者に多い(約 6 割)
- ・若い世代の集団感染も要注意
- ・外国生まれの患者の割合が増加



こんな症状にも注意！ まさか、結核だったとは！？

症状がはっきりしないこともあります。

- ☑ 咳や痰・微熱・だるさが 2 週間以上続いている
- ☑ 体重が減ってきた
- ☑ なんとなく食欲がない
- ☑ 元気がない、活気がない



「風邪だと思い、いつか良くなると思っていた。」「仕事の都合で受診を先延ばしにしていた。」

受診・発見が遅れることで…



重症化し、ほかの人につし集団感染となることもあるため、注意が必要です。



まずは結核対策で健康を守りましょう

☆胸部レントゲン検査を受けること！要精密検査になったら速やかに受診しましょう。

症状はなくても、健診などで年に1回は受けて、早期発見！！

65 歳以上の方は、感染症法により結核健診(胸部レントゲン検査)の受診が義務付けられています。定期的に受診して、結核を予防しましょう。

☆症状が2週間続いたら、我慢せず受診しましょう。

結核の検査には喀痰検査や胸部レントゲン検査(CT 検査)、血液検査などがあります。薬を飲んで治療することができます。

☆結核予防には BCG 接種があります。生後5か月から8か月の間に接種しましょう。

結核の発症や、重篤な髄膜炎や全身性の結核を予防する効果があります。特に免疫力の弱い乳幼児は BCG 接種で予防することが重要です。